

## 北見支部ニュース

RO4.01.01 発行

(一社)北海道建築士会北見支部 北見市花月町 18-18  
(株)清和設計事務所内 TEL 61-1131

### ■新年のご挨拶■

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、平素より建築士会北見支部活動に、格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナウィルス感染対策とするワクチン接種が進み、北見市内でも約87%を超える方が接種を行い、変異株などへの不安はありますが、少しずつ、近しい人との交流が増え、これまでの日常を取り戻しつつあります。

当支部におきましても、昨年、北見工業高校への住教育出張講座や市内公共施設の現場見学会等は実施することが出来ましたが、会員の皆様、そして参加される方々の安全確保等の観点から、ビールパーティや子供絵画コンクールなどの事業は中止せざるを得ませんでした。

コロナの収束状況下で、まだまだ心落ち着きませんが、今年も、新しい生活様式のなか、新たな発想を模索し会員皆様の知恵を頂きながら、支部活動をしっかり実施して行きたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力、ご支援、ご参加を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

北見支部長 因 芳 広

### ■重要■令和4年 (一社)北海道建築士会北見支部総会のお知らせ

下記の日程で(一社)北海道建築士会北見支部総会を開催いたします。

先月号同封の出欠ハガキを令和4年1月14日(金)までに、北見支部事務局((株)清和設計事務所)まで送付願います。

都合悪く欠席される場合は、出欠ハガキの委任状欄にお名前の記入をお願いします。

【日 時】令和4年1月22日(土) 女性部会総会 14:30より  
青年部会総会 15:00より  
支部通常総会 15:30より

【場 所】ホテル黒部(北見市北7条西1丁目1番地)

※新型コロナウイルス感染症拡大により、内容の変更または縮小開催とさせていただきます。

### ■住所、氏名、資格、勤務先等に変更があった場合は遅滞なく変更届の提出をお願いします。

(一社)北海道建築士会ホームページのより届出書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、北見支部事務局((株)清和設計事務所)にまでご持参ください。

【届出書】[http://h-ab.com/download/association/app\\_statement01.pdf](http://h-ab.com/download/association/app_statement01.pdf)

※裏面もご覧ください※

## 《会員紹介コーナー》

親 会

『 私の建設における転換期 』  
執筆者 桜井 博之 (五十嵐建設(株) 勤務)



建設業に携わり、42年になりました。近年のコロナにより、働き方を変える時なのかなと考えます。工事管理を主として23年間勤めましたが業務の内容に大きな変化をもたらしたのは、CADによる施工図の作成です。ドラフターで描いていた時は、手が遅く毎日遅くまで描いても、なかなか終わらず、各職長に怒られていました。そこにjw-cadが登場です。画期的でした。操作方法は先輩に指導して頂き、会社で自主練習でした。それでも楽しくて何時間でもPCの前に座っていました。やっと描いたデータをペンプロッターで図面化していきます。プロッターが途中で止まり、PCも動かなくなり、リセットするとデータが飛ぶこともあり、がっかりしたものです。今ではCADは当たり前、現場に持ち込むものはPCとディスプレイとプリンターとなりました。

図面とは別に予算書の作成ですがこれもなかなかの難物でした。一つの現場は一つの会社と考える。とよく指導いただきました。一つの建物を完成し、発注者に引き渡すのは多様な職種の方が携わり、完成品を作り、引き渡し、対価を戴き、利益を上げる。「赤字であれば、一つの会社（現場）がつぶれる」と思えとよく言われました。

そんなこなをクリアすると、配置転換です。また一から始まりです。なかなか思うようにいきませんが、42年たちました。働き方改革、省力化、これからの技術革新により、また大きな転換期になるのではと考えております。

青年部会

『 建築を好きになったきっかけ 』  
執筆者 田中 祐輔 (北見市役所 勤務)



私は小さい頃、団地に住んでおり、LEGOブロックで遊ぶことが大好きでした。特にお城シリーズが好きで、毎年色々なお城シリーズが発売され、そのたびに親にお願いをして買って買っており、買ってもらったその日に完成させて、崩して、また作ってを繰り返していました。ある時、買ってもらったLEGOを崩して作り直そうとしたときに扉の部品が壊れていることに気が付き、色の違う部品は他のLEGOシリーズにあったため代用で色の違う扉を付けました。そこから、色々なパターンでLEGOが作れる面白さを知り、違うLEGOシリーズ同士を混ぜ合わせて、説明書に無い自分だけのお城や家を作るようになりました。当時住んでいた団地も作ったことがあります。次第にLEGOの精密な作りに興味を持ちだし、どのパーツも綺麗にはまり、不良品を一つも見ることがないことが凄と思うようになり、気が付けば、おもちゃの家ではなく本物の家を自分で作ってみたいと思うようになっていました。

現在、自分の子供たちには同じようにLEGOで遊ばせています。建築を好きになったきっかけは色の違う扉からでした。ほんの些細なことでしたが、これが今に繋がっていると思うと感慨深いものを感じます。